



# 同志社大学

交換留学プログラムおよび出願の案内

2024 秋学期

(2024年9月～2025年3月/9月)

グローバル教育プログラム(GEM) および  
日本語・日本文化教育プログラム(Nichibun)



推薦締切: 2024年2月29日

\*推薦は、指定の Nomination Form に入力し、メール本文内にある指定の URL へアップロードしてください。(必ず担当者により完了してください。)

申請締切: 2024年3月29日

- 上記締切日までに、申請者と担当者双方の署名入りの願書とその他全ての書類を、担当者により同志社大学指定の OneDrive にアップロードしてください。申請者からの直接の提出は受け付けません。 OneDrive の URL を担当者にお知らせしますので、申請者と共有しないでください。

\*国際郵便/宅配便にて、申請書類原本を郵送していただく必要はありません。

受入可否通知: 2024年5月下旬～6月上旬

連絡先（受入担当）	
係長	畑山 志織
アシスタントプログラムコーディネーター	森 公香（受入担当者）
住所	同志社大学 留学生課 602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
電話	+81-75-251-3257
Email	<a href="mailto:ji-incmg@mail.doshisha.ac.jp">ji-incmg@mail.doshisha.ac.jp</a> *問合せは、在籍大学の交換留学担当者を通して行ってください。

学年暦	2024 秋学期	2025 春学期
入寮日	2024 年 9 月上旬 (後日決定)	2025 年 3 月中旬 (後日決定)
オリエンテーション週間	9 月中旬～	3 月中旬～
<p>※ 必ず、入寮指定日までに来日してください。入寮指定日までに来日せず、オリエンテーションや科目登録等の重要な行事に参加しなかったことで生じる影響・不利益については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。</p> <p>※ オリエンテーション期間には、週末(土曜日・日曜日)や祝日にも行事が行われることがあります。よって、オリエンテーション期間中は週末であっても、旅行等を予定することは慎んでください。</p>		
科目登録	各学期開始直後	
授業開始	9 月下旬	4 月上旬
授業終了	1 月下旬	7 月中旬
試験期間	1 月下旬～2 月上旬	7 月中旬～下旬
<p>※ 登録科目の試験が終了次第、帰国可能です。試験日程は、試験期間の 2～3 週間前に発表されます。</p>		
成績証明書発送	3 月中旬	9 月中旬
<p>※ 上記の時期より早く発送することはできません。同志社大学の規定により、成績証明書は紙媒体で発行します。PDF 等電子媒体では発行できません。</p>		

### 出願資格

- 交換留学生は、同志社大学での交換留学期間が終了するまで、派遣元大学に正規生として在籍している必要があります。交換留学期間終了前に、在籍大学を卒業・退学・除籍等になる予定がある学生は、同志社大学の交換留学プログラムに出願できません。
- 交換留学生は、出願するプログラム(GEM または Nichibun)の語学要件を満たしている必要があります。

### 留学(学生)ビザ

※日本国籍を保有する学生は日本国籍のパスポートで入国する必要がある為、留学ビザを申請・取得する必要はありません。

「在留資格認定証明書」は、あなたが留学ビザ申請をするために必要な書類です。同志社大学が出入国在留管理庁に申請し、発行され次第、学生へ転送します。「在留資格認定証明書」を受領後、速やかに、母国または居住地の最寄りの日本大使館や領事館等の在外公館にて留学ビザを申請し、必ず、パスポートに留学ビザの発給を受けてから来日してください。本学が用意する「在留資格認定証明書」により取得した留学ビザは、同志社大学で勉強するためのビザです。このビザを利用して、観光目的での早期入国や、別の機関が提供するプログラムへの参加はできません。

## 宿舎(寮)

大学間協定による交換留学生は、寮に空室があれば、同志社大学の提供する寮に入居できます。寮希望者は、寮の申込書を交換留学の出願書類と一緒に出願締切日までに提出してください。Application Pack に含まれる寮のリストから希望する寮を選び、寮の申込書に記載してください。ただし、寮の部屋数には限りがあるため、希望する寮に必ず入居できるわけではありません。もし、自分自身で部屋を探す場合は、以下の URL を参考にしてください。

\*京都市国際交流協会: <https://housenavi-jpm.com/jp/kansai/>

\*同志社大学: <https://ois.doshisha.ac.jp/housing/finding.html>

## 奨学金

JASSO(日本学生支援機構)奨学金は、同志社大学が案内できる交換留学生を対象とする唯一の奨学金です。ただし、JASSO が同志社大学の交換留学プログラムに経済的支援を行うかどうかは年ごとに異なります。また、JASSO 奨学金は非常に競争率が高く、JASSO 奨学金の申請者全員に支給されることはありません。応募結果は皆さんの日本到着前後に通知されますので、在留資格認定証明書交付申請書の経費支弁方法として JASSO 奨学金を申請することはできません。

## その他

- 出入国管理及び難民認定法により、留学ビザを保有する留学生には最低学習時間(週)が定められています。少なくとも週に 7 クラスを履修するよう科目登録をしてください。
- 交換留学生は正規学生と同じ施設を利用できます。
- 同志社大学での交換留学は、出願時に申請した期間で交換留学を終了し、派遣元大学に戻る必要があります。

交換留学期間が 1 学期間の学生が、交換留学期間を 1 年間に延長したい場合は、以下の期限までに、派遣元大学および同志社大学留学生課に申し出る必要があります。派遣元大学から正式に延長が申請されれば、国際教養教育院委員会で審議され、学術的な理由により延長が必要と判断された場合は、期間延長申請が承認されます。

2025 年春学期まで延長を希望する場合の延長申請締切日…10 月 25 日(金)17:00 まで



## 【重要】

交換留学生は、グローバル教育プログラム (GEM) または日本語・日本文化教育プログラム (Nichibun) のいずれかを選択し、選択したプログラムが提供する科目を主に履修します。

この『交換留学プログラム&出願案内』をよく読み、それぞれのプログラムの違いを理解してから、どちらのプログラムに申し込むかを決定してください。

- 申請締切日の後にプログラム (GEM/Nichibun) を変更することはできません。
- 学期ごとに異なるプログラム (GEM/Nichibun) に申請すること、および交換留学期間の途中でプログラムを変更することはできません。

### グローバル教育プログラム (GEM)

\*日本の文化・社会・自然に関して英語で学ぶ

\*GEM が提供するすべての科目は学部レベルであることを理解していれば、すべてのレベル (学士、修士、博士) の学生がこのプログラムに参加することは可能です。

#### 1. 出願資格

「第一言語が英語の外国人留学生」または「英語で行われる授業を理解できる英語能力が高い外国人留学生」を対象とします。第一言語が英語でない外国人留学生が GEM プログラムに参加するには、英語におけるヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) の B2 相当以上の能力の証明が必要です。

#### 2. 提供科目

科目リスト & シラバス

[https://intad.doshisha.ac.jp/intad/exchange/cge\\_curriculum.html](https://intad.doshisha.ac.jp/intad/exchange/cge_curriculum.html) (日本語)

[https://intad.doshisha.ac.jp/intad/en/exchange/cge\\_curriculum.html](https://intad.doshisha.ac.jp/intad/en/exchange/cge_curriculum.html) (英語)

GEM では、世界における日本をより理解することを目的とした、人文科学から社会科学、自然、人間科学までの幅広い学問分野の科目と日本文化、伝統に関する科目を、英語で提供します。

GEM で行われる授業は、交換留学生と同志社大学の学生が少人数編成のクラスで、グループワークやディカッション中心の対話型授業でともに学ぶことにより、異なる価値観やものの見方を相互に学ぶことができます。

英語圏出身またはネイティブレベル相当の英語能力がある学生は、国際教育インスティテュート (ILA) が提供する科目についても、審査の上、履修することができます。(3科目まで)

ILA の授業は、ネイティブレベルの英語で行われ、主に日本文化や社会に特化した内容です。ただし、多くの ILA 科目は受講者数に制限があるため、希望に添えない場合もあります。

GEM 生は、日本語能力に応じて日本語科目も履修することができます。(3コマ 3単位まで)

日本語科目は、基礎、初級前期 (I) ~ 超上級 (IX) のレベルに分かれて編成されており、日本語能力に応じて学習することができます。「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく育成します。

### 3. 単位

このプログラムの単位数の基準は、1週2時間、15週をもって2単位(日本語科目は除く)とします。

GEM生は、1年間で30単位(1学期間で15単位)まで履修することができます。日本語科目およびILA科目の単位もこの中に含まれます。

また、週に最低7コマ以上(1コマ=90分)の授業を受けることが、法律(※)で定められています。

(※)出入国管理及び難民認定法第7条第一項第二号の基準を定める省令

#### GEM 時間割サンプル

	月	火	水	木	金	土
1 9:00-10:30						
2 10:45-12:15				日本語(基礎) 火3・木2・金3セットで[3単位]		
3 13:10-14:40		日本語(基礎) 火3・木2・金3セットで[3単位]			日本語(基礎) 火3・木2・金3セットで[3単位]	
4 14:55-16:25		Issues in Japanese Culture [2単位]			Japan in Modern World History [2単位]	
5 16:40-18:10		International Relations in the Postwar Era [2単位]	Issues in Intercultural Communication [2単位]		Introduction to Japanese Culture in the Global Context [2単位]	
6 18:25-19:55						
7 20:10-21:40						

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
1 9:00-10:30						
2 10:45-12:15				Japanese (Basic) Tue3・Thu2・Fri3 in a set [3 credit(s)]		
3 13:10-14:40		Japanese (Basic) Tue3・Thu2・Fri3 in a set [3 credit(s)]			Japanese (Basic) Tue3・Thu2・Fri3 in a set [3 credit(s)]	
4 14:55-16:25		Issues in Japanese Culture [2 credit(s)]			Japan in Modern World History [2 credit(s)]	
5 16:40-18:10		International Relations in the Postwar Era [2 credit(s)]	Issues in Intercultural Communication [2 credit(s)]		Introduction to Japanese Culture in the Global Context [2 credit(s)]	
6 18:25-19:55						
7 20:10-21:40						

## 日本語・日本文化教育プログラム (Nichibun)

\*日本語・日本文化に関して日本語で学ぶ

\*同志社大学の日本語プレースメントテストにより、派遣元大学でのレベル(学士、修士、博士)に関係なく、適切な日本語レベル・クラスに分かれ授業を履修します。

### 1. 出願資格

原則として、本学入学時点で、少なくとも1年間は大学レベルの日本語学習を終えていることが必要です。

### 2. 提供科目

科目リスト & シラバス

<https://intad.doshisha.ac.jp/intad/exchange/curriculum.html> (日本語)

<https://intad.doshisha.ac.jp/intad/en/exchange/curriculum.html> (英語)

「日本語科目」は、学期毎に日本語能力に応じて初級前期(Ⅰ)、初級後期(Ⅱ)、初中級(Ⅲ)、中級前期(Ⅳ)、中級後期(Ⅴ)、中上級(Ⅵ)、上級前期(Ⅶ)、上級後期(Ⅷ)、超上級(Ⅸ)の9段階のレベルに編成し、きめ細かで丁寧な指導を行います。どの学習段階から始めるかは入学前に行う日本語プレースメントテストによって決定します。

Nichibun が提供する科目は、「日本語科目」、「日本語演習科目」、「日本事情科目」、「国際事情科目」の4つの科目群に分かれています。

「日本語科目」には、《集中コース》と《選択コース》があります。

《集中コース》…各学習段階とも、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を総合的に修得する科目と、読解、文章表現、口頭表現、語彙の技能別科目から構成されています。学習段階ごとのパッケージで履修することで、効率よく反復練習し、学習の定着と能力の発展を図ります。

《選択コース》…文法、口頭表現、文章表現、読解、語彙の技能別科目のみで構成されています。数科目を自由に選択して履修することが可能です。

「日本事情科目」では、教室内での授業や学外実習を通じて、習字や生け花、茶の湯や神社の祭礼など、京都の地の利を活かした様々な日本の伝統文化を学ぶ機会を提供しています。

日本語プレースメントテストで十分な日本語能力があると判断された場合は、各学部(※)で開講されている科目を履修することができます。ただし、日本語の学習段階により履修できる科目は異なります。また、演習科目、理工学部科目、生命医科学部科目、他学部生履修不可の科目等は履修することができません。

※在籍大学で研究科に所属する大学院生に限り、研究科で開講されている科目の一部を履修することができます。

### 3. 単位

このプログラムの単位数の基準は、1週2時間、15週をもって1単位または2単位とします。Nichibun 生は、1年間で30単位(1学期間で15単位)まで履修することができます。

十分な日本語能力があると認められた場合に履修できる、同志社大学学部・研究科が提供する科目の単位もこの中に含まれます。

また、週に最低7コマ以上(1コマ=90分)の授業を受けることが、法律(※)で定められています。

(※)出入国管理及び難民認定法第7条第一項第二号の基準を定める省令

# Nichibun 時間割サンプル

日本語1~3レベルの時間割サンプル (2レベル) / example of class schedule: Japanese Language Level from I to III ( Level II)

	月	火	水	木	金	土
1 9:00-10:30	日本語(総合1Ⅱ) [1単位]	日本語(総合3Ⅱ) [1単位]	日本語(総合5Ⅱ) [1単位]	日本語(総合7Ⅱ) [1単位]	日本語(総合9Ⅱ) [1単位]	
2 10:45-12:15	日本語(総合2Ⅱ) [1単位]	日本語(総合4Ⅱ) [1単位]	日本語(総合6Ⅱ) [1単位]	日本語(総合8Ⅱ) [1単位]	日本語(総合10Ⅱ) [1単位]	
3 13:10-14:40	日本語総合演習A [1単位]					
4 14:55-16:25	日本の文化特講A [2単位]					
5 16:40-18:10						
6 18:25-19:55						
7 20:10-21:40						

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
1 9:00-10:30	Japanese (General 1 II) [1 credit(s)]	Japanese (General 3 II) [1 credit(s)]	Japanese (General 5 II) [1 credit(s)]	Japanese (General 7 II) [1 credit(s)]	Japanese (General 9 II) [1 credit(s)]	
2 10:45-12:15	Japanese (General 2 II) [1 credit(s)]	Japanese (General 4 II) [1 credit(s)]	Japanese (General 6 II) [1 credit(s)]	Japanese (General 8 II) [1 credit(s)]	Japanese (General 10 II) [1 credit(s)]	
3 13:10-14:40	Japanese Language Seminar A [1 credit(s)]					
4 14:55-16:25	Special Topics in Japanese Culture A [2 credit(s)]					
5 16:40-18:10						
6 18:25-19:55						
7 20:10-21:40						

日本語4レベルの時間割サンプル / example of class schedule: Japanese Language Level IV

	月	火	水	木	金	土
1 9:00-10:30	日本語(総合1Ⅳ) [1単位]	日本語(総合3Ⅳ) [1単位]	日本語(総合5Ⅳ) [1単位]	日本語(総合7Ⅳ) [1単位]	日本語(総合9Ⅳ) [1単位]	
2 10:45-12:15	日本語(総合2Ⅳ) [1単位]	日本語(総合4Ⅳ) [1単位]	日本語(総合6Ⅳ) [1単位]	日本語(総合8Ⅳ) [1単位]	日本語(総合10Ⅳ) [1単位]	
3 13:10-14:40	日本語総合演習B [1単位]	日本の伝統と文化 [2単位]				
4 14:55-16:25		中級日本語文法概論B [1単位]				
5 16:40-18:10						
6 18:25-19:55						
7 20:10-21:40						

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
1 9:00-10:30	Japanese (General 1 IV) [1 credit(s)]	Japanese (Oral Expression A IV) [1 credit(s)]	Japanese (General 3 IV) [1 credit(s)]	Japanese (Reading Comprehension B IV) [1 credit(s)]	Japanese (General 5 IV) [1 credit(s)]	
2 10:45-12:15	Japanese (Reading Comprehension A IV) [1 credit(s)]	Japanese (General 2 IV) [1 credit(s)]	Japanese (Written Expression IV) [1 credit(s)]	Japanese (General 4 IV) [1 credit(s)]		
3 13:10-14:40	Japanese Language Seminar B [1 credit(s)]	The Tradition and Culture of Japan [2 credit(s)]				
4 14:55-16:25		Intermediate Japanese Grammar Overview B [1 credit(s)]				
5 16:40-18:10						
6 18:25-19:55						
7 20:10-21:40						

日本語5~9レベルの時間割サンプル (8レベル) / example of class schedule: Japanese Language Level from V to IX ( Level VIII)

	月	火	水	木	金	土
1 9:00-10:30	日本語(総合1Ⅴ) [1単位]		日本語(総合3Ⅴ) [1単位]	日本語(総合4Ⅴ) [1単位]	日本語(総合5Ⅴ) [1単位]	
2 10:45-12:15	日本語(文章表現Ⅴ) [1単位]	日本語(総合2Ⅴ) [1単位]	日本語(読書Ⅴ) [1単位]		日本語(読解表現Ⅴ) [1単位]	
3 13:10-14:40		日本語(読解AⅤ) [1単位]	日本の教育 [2単位]	日本語総合演習Ⅴ [1単位]	ビジネス日本語Ⅴ [1単位]	
4 14:55-16:25	日本の文字A [2単位]					
5 16:40-18:10						
6 18:25-19:55						
7 20:10-21:40						

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
1 9:00-10:30	Japanese (General 1 VIII) [1 credit(s)]		Japanese (General 3 VIII) [1 credit(s)]	Japanese (General 4 VIII) [1 credit(s)]	Japanese (General 5 VIII) [1 credit(s)]	
2 10:45-12:15	Japanese (Written Expression VIII) [1 credit(s)]	Japanese (General 2 VIII) [1 credit(s)]	Japanese (Vocabulary VIII) [1 credit(s)]		Japanese (Oral Expression B VIII) [1 credit(s)]	
3 13:10-14:40		Japanese (Reading Comprehension A VIII) [1 credit(s)]	Education in Japan [2 credit(s)]	Japanese Language Seminar D [1 credit(s)]	Business Japanese D [1 credit(s)]	
4 14:55-16:25	Introduction to Japanese Literature A [2 credit(s)]					
5 16:40-18:10						
6 18:25-19:55						
7 20:10-21:40						

## チェックリスト

- ※ チェックリストに従って必要な書類を準備してください
- ※ 申請書類は派遣元大学の担当者により提出してください。 出願者本人から直接の提出は受け付けません
- ※ 全ての書類は **日本語または英語** で記載してください
- ※ **申請書類は写真撮影したものではありません、スキャナーまたはコピー機を使用し PDF 化してください。(手振れによる、書類の歪みやブレ、光の反射や影などを防ぐためです)**
- ※ 申請書類は、チェックリストに記載の順番で、書類ごとではなく、1つの PDF にして提出してください

交換留学プログラム提出書類	
<input type="checkbox"/>	<p>※ 同志社大学 交換留学プログラム願書 (所定用紙)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 全ての項目を記入し、最終ページ (3 ページ目) に出願者本人と派遣元大学担当者が誓約として署名をしてください</li> <li>- 8. 日本語総学習時間は 2024 年 9 月までの時間数を計算し記入してください</li> <li>- 9. 『学歴』欄が足りない場合は、A4 サイズの紙に記入し、一緒に提出してください</li> <li>- 最初のページ (1 ページ目) に必ず写真を貼付してから派遣元大学担当者に提出してください</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<p>※ 志望理由書 (日本語・日本文化教育プログラムに出願する学生は所定用紙)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- <u>グローバル教育プログラム</u>に出願する学生は、PC で A4 サイズの用紙の半分以上、約 300 語以上の英文をタイプしてください (手書きは受け付けません)</li> <li>- <u>日本語・日本文化教育プログラム</u>に出願する学生は、日本語で所定用紙の半分以上を手書きしてください</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<p>※ 日本語能力認定書 (所定用紙)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- <u>日本語・日本文化教育プログラム</u>に出願する学生は、必ず提出してください</li> <li>- JLPT のスコアの証明書をお持ちの場合は、コピーも一緒に提出してください</li> <li>- <u>グローバル教育プログラム</u>に出願する学生で、日本語学習経験のある学生は提出してください</li> <li>- JLPT のスコアの証明書をお持ちの場合は、コピーも一緒に提出してください</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<p>※ 【グローバル教育プログラムに出願する学生のみ】 Self-assessment of your Japanese level (所定用紙)</p>
<input type="checkbox"/>	<p>※ 【グローバル教育プログラムに出願する学生のみ】 English language certificate (所定用紙)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- グローバル教育プログラムに出願する学生は、英語が母語の場合も必ず提出してください。</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<p>※ 成績証明書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 全学年・全科目 (各科目の成績と単位を含む)</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<p>※ 健康診断書 (所定用紙)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- すべての項目について、医師に英語または日本語で記入してもらってください</li> <li>- すべての項目は、日本の学校保健安全法で義務付けられており、どの項目も検査は省略できません</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<p>※ 同志社大学留学生宿舍申込書 (所定用紙)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- <u>女子留学生</u>は、必ず第 6 希望まで記入してください</li> <li>- <u>男子留学生</u>は、必ず第 3 希望まで記入してください</li> <li>※ <b>各宿舍の部屋数には限りがありますので、希望がかなわない場合もあります。予めご了承ください</b></li> <li>※ <b>割当てられた寮は、いかなる理由でも変更できません</b></li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<p>※ JASSO 奨学金申請書 (所定用紙)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- JASSO 奨学金希望者は提出してください (日本国籍保有者は申請できません)</li> <li>- 応募資格やルール等は別紙の「JASSO 奨学金について」をご覧ください</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<p>※ パスポートコピー (鮮明なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 有効期限が留学期間をカバーしていること</li> <li>- 必ずパスポートの下部、コードのように見える、氏名の英語表記部分も含めた鮮明なコピーを提出してください。</li> <li>- <u>日本国籍を保有している場合</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 日本のパスポートも提出してください</li> <li>※ 名前の漢字表記がわかる正式な書類 (例えば戸籍謄本など) を提出してください</li> <li>※ 戸籍謄本および附票 - 同志社大学に提出の必要はありませんが、これらの書類は、来日後に住所登録をする際に必要となります</li> </ul> </li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<p>※ 証明写真 (鮮明なもの) PDF または jpeg (<b>パスポートと同じ写真を提出しないでください</b>)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 以下の条件を満たす写真を提出してください (COE 申請および学生証に使用します)</li> <li>※ 3 か月以内に撮影されたもの (*同志社大学で 4cm x 3cm に編集します)</li> <li>※ 正面、脱帽、背景無地、頭・あご・両耳が枠内に収まっている、前髪が目にかかっているもの</li> </ul>



『在留資格認定証明書交付申請書』に必要な書類

- 出入国在留管理庁へ『在留資格認定証明書』を申請するために必要な書類です。必ずすべて準備して提出してください。
- 日本国籍を保有する留学生は、日本のパスポートで入国する必要があります。日本のパスポートで入国する場合は、ビザ申請の必要はありませんので、以下の経費支弁書類の提出は不要です。

※ 出入国在留管理庁は日本語または英語の経費支弁関係書類しか受け付けません  
もし、他の言語で記載されている場合は、書類すべてを日本語か英語に翻訳し、その翻訳が正確であることを証明するため、派遣元大学の担当者に大学印を押印してもらい提出してください。(一部の単語や文章だけではなく、別紙に全ての単語・文章を翻訳してください。)

※ 出願者は最低 月額 100,000 円 (例:1学期間の留学の場合は 60 万円以上/1 年間の場合は 120 万円以上)の留学資金を示す必要があります。

出入国管理庁への「在留資格認定証明書(COE)」交付申請に必要な情報 (所定用紙)	
□	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 質問 9: 留学ビザを申請予定の日本大使館または領事館の所在地(国名と都市名)を記入 現在の居住地または母国の最寄りの日本大使館または領事館 (例: London, UK)</li> <li>- 質問 15: 小学校入学の年から同志社大学で交換留学を開始する 2024 年 9 月までの合計教育年数を計算し記入</li> <li>- 質問 19: 直近 5 年(2019 年～現在)の職歴(アルバイトは除く)と高校卒業以降の学歴を記入</li> <li>- 質問 20(2): 経費支弁者が親族の場合、経費支弁者が勤務する会社名と職業の両方を記入 (例: ABC 株式会社、販売員)</li> </ul>
<出願者本人が経費を支弁する場合>	
□	<p>銀行預金残高証明書 (出願者本人名義のもの)(日本語または英語)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 名義名と残高にマーカーで印を付けてください</li> </ul>
<親族等(本人以外)が経費を支弁する場合> 以下の全ての書類を提出してください。	
□	<p>経費支弁書 (所定用紙)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 経費支弁者が記入すること</li> </ul>
□	<p>銀行預金残高証明書 (経費支弁者名義のもの)(日本語または英語)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 名義と残高にマーカーでハイライトをしてください</li> </ul>
□	<p>在職証明書と年収証明書 (日本語または英語)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 経費支弁者の名前、企業名、年収が分かるようにマーカーでハイライトをしてください</li> <li>- 経費支弁者が自営業の場合は、前年の納税証明書を提出し、経費支弁者の名前、企業名、年収が分かるようにマーカーでハイライトをしてください</li> </ul>
<奨学金や学生ローンにより支弁する場合>	
<p>※ 奨学金とは、返済義務のないものを指します</p> <p>※ 学生ローンとは、返済義務のあるものを指します</p>	
□	<p>奨学金/学生ローン受給証明書(所定用紙)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- このフォームは派遣元大学担当者またはその他適切な担当者が記入し署名すること</li> <li>- 奨学金/学生ローンの受給期間は、交換留学プログラム期間を満たしている必要があります</li> <li>- このフォームへの記載金額は生活費のみを記入 (派遣元大学への授業料や渡航費など生活費以外のは省く)</li> <li>- 奨学金と学生ローンの両方を受給する場合は、それぞれ別にこのフォームを提出してください</li> </ul>

※申請書類をスキャンした後、各書類の上下と両端の文字が書類内に納まっているか確認をしてから、交換留学プログラム担当者に提出してください。